

2018年4月21日

## 危険な移動ピラミッドによる膝立ち

—広島大附属三原中学での組体操死亡事故に関連して—  
大阪経済大学 情報社会学部 西山 豊

春の運動会に向けて全国の小中学校で組体操の取り組みが始まっているかと思いますが、近年、膝立ち（ひざたち）という方法で重大な事故が発生していますので、関係者は十分に注意してください。

2016年6月18日、広島大学附属三原中学の運動会で、「3段騎馬」と呼ばれる演技で2段目にいた男子生徒が後頭部打撃による小脳出血で死亡するという事故が起こっています[1]。

当該校では「3段騎馬」と呼んでいますが、組体操の教本では「移動ピラミッド」「肩ピラミッド」「最下段起立ピラミッド」などの名称があります。

3人が2列の6人で土台を作り、その上に俵積み方式の2段ピラミッド（3人）を乗せて、神輿（みこし）を担ぐようにして移動するというものです。

この技はとても不安定で危険なので、小中学校ではごく稀にしか実施されません。教本では、最上段の生徒は四つん這いになって、両手を2段目の肩に、両膝を腰に置くと決められています。2段騎馬（4人）と構造的に異なり不安定なため、移動するときは声を掛け合ってゆっくり歩くとありますが、急ぎ足で退場門までの長距離を移動しています（図1）。



図1. 事故と同じ3段騎馬による膝立ち  
広島大学附属三原中学、2016年6月17日

「膝立ち」というあまり見かけない方法で事故が起こっています。

2016年5月30日、東京都練馬区の石神井（しゃくじい）西中学の運動会の練習中に、4段ピラミッドで最上段から落下した女子生徒が右肘を骨折する2カ月の重傷を負っています<sup>[2]</sup>。四つん這いではなく、膝立ちして両手を上げる際にバランスを崩しています（図2）。ピラミッドやタワーの段数制限や高さ制限があるなかで、「膝立ち」という方法が現れたと思われませんが、「膝立ち」は不安定でとても危険です。この方法を計画している学校は是非見直してください。



図2. 事故と同じ4段ピラミッドの膝立ち  
東京都練馬区石神井西中学、2016年5月30日

[付記1]

組体操の死亡事故はこれまでに9件あり<sup>[3]</sup>、新聞で確認できるのは3件（下表の2, 3, 7）です。組体操で死亡するなどあってはならないことです。

(3)表3 組体操事故死亡事例

（日本スポーツ振興センター昭和45年度から平成27年度までの死亡見舞金給付案件9件）

NO	学校種	給付年度	学年	性別	死因	演技別	災害発生時の位置
1	小学校	S48~52	6年	男	頭部打撲	2段タワー	2段目
2	小学校	S58	6年	女	脳挫傷 急性硬膜外血腫	2段タワー	2段目
3	小学校	S63	6年	男	急性心不全	3段ピラミッド	土台（1段目）
4	中学校	S45~47	3年	男	腎不全	倒立からの肩車	2段目
5	中学校	S48~52	2年	男	脳内出血	3段タワー	2段目
6	中学校	S63	2年	男	※急性心不全	不明	説明中、体育座り
7	中学校	H 4	3年	男	圧死	タワー	2段目
8	中学校	H 8	2年	男	※心筋炎	3段タワー後	完成後、歩き始め
9	高等学校	S50~54	1年	男	皮下十二指腸後腹膜内破裂	3段タワー	2段目

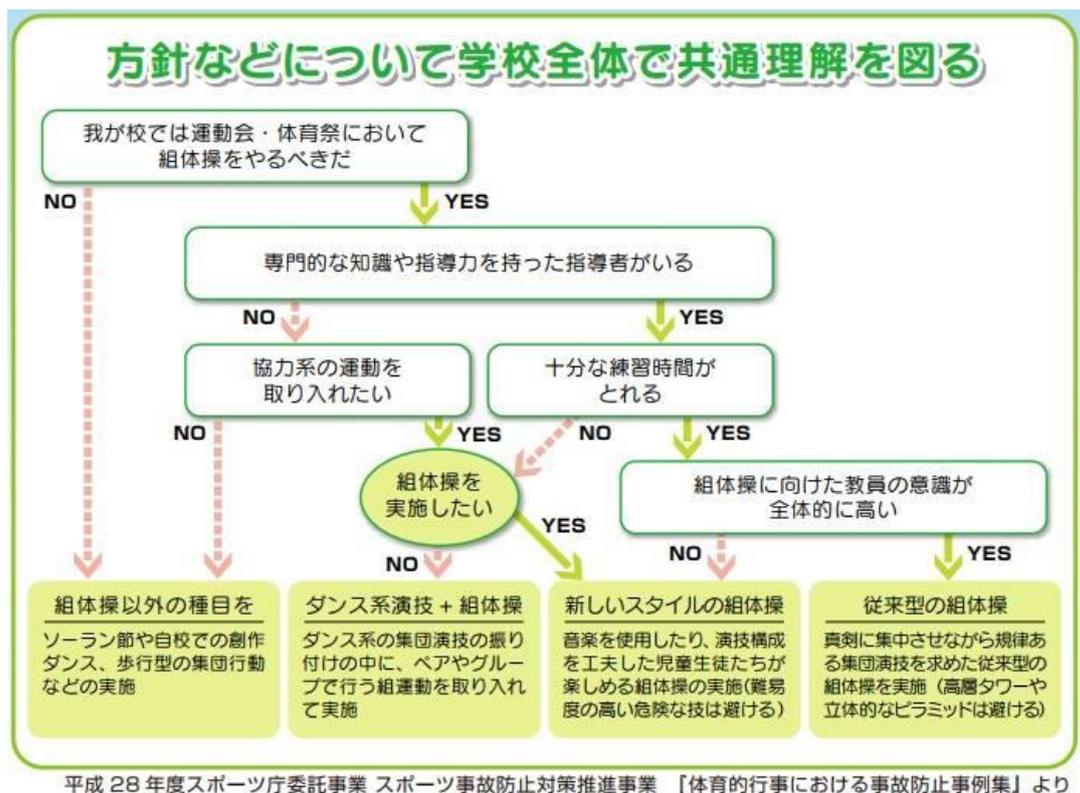
※組体操練習時の突然死

表1. 組体操による死亡事例（昭和45年～平成27年）日本スポーツ振興センター

[付記 2]

次のフローチャートは、日本スポーツ振興センター学校安全部による、「組体操による事故を防ぐために！」（教職員向け、平成 29 年 9 月号）から抜粋したものです<sup>[4]</sup>。

「安全確保できない場合は中止を」とスポーツ庁は指針を出しています(平成 29 年 3 月)。組体操の事故件数は、年間 8000 件が推移していて、2016 年度は 5300 件に減少しましたが、骨折はいまだに 1000 件を超えています。重大事故や死亡事故が起こらないために、関係者には、今一層の注意喚起を要請します。



(参考資料)

[1] 「組み体操「死亡は頭強打が原因」遺族が広島大学を提訴」（毎日新聞、2017 年 11 月 2 日）

[http://www.geocities.jp/ma85003/math/mainichi\\_2017\\_11\\_2.pdf](http://www.geocities.jp/ma85003/math/mainichi_2017_11_2.pdf)

[2] 「組み体操 転落の女子生徒が骨折 東京・練馬の中学校」（毎日新聞、2016 年 6 月 8 日）

[http://www.geocities.jp/ma85003/math/mainichi\\_2016\\_6\\_2.pdf](http://www.geocities.jp/ma85003/math/mainichi_2016_6_2.pdf)

[3] 「体育的行事における事故防止事例集」日本スポーツ振興センター、平成 29 年 3 月発行

[https://www.jpnsport.go.jp/anzen/Portals/0/anzen/anzen\\_school/28jireisyu.pdf](https://www.jpnsport.go.jp/anzen/Portals/0/anzen/anzen_school/28jireisyu.pdf)

[4] 「組体操による事故を防ぐために！」（教職員向け、平成 29 年 9 月号）、日本スポーツ振興センター学校安全部

[http://www.jpnport.go.jp/anzen/Portals/0/anzen/kenko/pdf/card/H29/H29\\_9\\_3.pdf](http://www.jpnport.go.jp/anzen/Portals/0/anzen/kenko/pdf/card/H29/H29_9_3.pdf)

[5] 西山豊「組体操事故（記事、資料）」:

<http://www.osaka-ue.ac.jp/zemi/nishiyama/kumi.html>

(連絡先)

〒533-8533 大阪市東淀川区大隅 2-2-8

大阪経済大学 情報社会学部

西山 豊

Tel: 06-6328-2431 (代) 06-6990-3694 (直)

E-mail: [nishiyama@osaka-ue.ac.jp](mailto:nishiyama@osaka-ue.ac.jp)

Home Page: <http://www.osaka-ue.ac.jp/zemi/nishiyama/index.html>